

令和6年度

県政調査チーム活動状況報告書

令和7年3月

福井県議会 議会局

目 次

1	県政調査チームの概要	・・・	1
2	令和6年度の取り組み	・・・	2
3	各チームの活動状況	・・・	3
	総務教育	・・・	3
	厚生	・・・	11
	産業	・・・	19
	土木警察	・・・	27

令和6年度の県政調査チームの活動状況

1 県政調査チームの概要

福井県議会では、4つの常任委員会ごとに、各会派から選出された議員および議会局職員で構成する「県政調査チーム」を設置している。

この県政調査チームでは、定例会ごとに、論点となる県政課題について調査するほか、委員会で議論される行政計画の勉強会や他県の先進事例の調査、委員会視察のための事前調査等を実施している。

調査した内容については、チームに所属しない常任委員会委員とも資料を共有し、委員会審議の充実等を図っている。

〈県政調査チームの活動〉



2 令和6年度の取り組み

5月に開催された臨時会において本年度の常任委員会の委員が選任された後、同日に各チームが第1回目の会議を開催した。年間を通じて継続的に調査を行う「年間テーマ」について協議、決定した後、それらの年間テーマや本年度改定予定の行政計画等を踏まえたチームの活動方針、委員会視察の内容、議員研修会のテーマ等について協議を行った。

定例会ごとに行う論点整理では、本会議や委員会において議論される主な県政課題について、県の動向や理事者の過去の答弁のほか、他県における先進事例等を調査し、委員会における提言や質疑すべき内容を検討した。

また、年間テーマに基づき、視察調査を行ったほか、地域公共交通に関する勉強会(総務教育)をはじめ、薬剤師の担い手確保および育成についての意見交換(厚生)など、適時各チームが必要な調査を実施した。

こういった取り組みは、各常任委員会での議論だけでなく、各会派の代表質問や議員の一般質問における質疑や提言、さらには議員連盟等における要望活動等に活かされている。

〈年間テーマと主な活動〉

- 総務教育 「福井県立大学中期目標・中期計画」
「人口減少対策」
「教育振興基本計画」
 - ・6月11日 路線バス・ライドシェアに関する勉強会

- 厚生 「エネルギー政策および原子力を含む防災力の向上」
「子ども・子育て支援施策の推進」
 - ・7月2日 高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する勉強会
 - ・9月26日 県内の薬剤師不足に関する意見交換会

- 産業 「人口減少対策(社会減対策)」
「新幹線開業効果の最大化・持続化に向けた取組」
「経済ビジョンの推進」
「農業の活力強化、食育・地産地消の推進」

- 土木警察 「大規模地震減災対策」
「建設現場における働き方改革」
「サイバー犯罪対策」

3 各チームの活動状況

総務教育

野田哲生、兼井大（リーダー）、大和久米登、酒井秀和、藤本一希
議会局 議事調査課（藤井、大久保、山本）

○令和6年5月9日

第1回調査 「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

〈年間テーマ〉

「福井県立大学中期目標・中期計画」

- ◇第3期中期目標等の総括と次期目標および計画の考え方や方針
- ◇恐竜学部の募集状況、地域政策学部まちなかキャンパスの検討状況

「人口減少対策」

- ◇第2期ふくい創生・人口減少対策戦略の総括と次期戦略の基本的方針
- ◇人口減少対策および社会減対策に関する部局横断による議論の状況

「教育振興基本計画」

- ◇第3期教育振興基本計画の総括と次期計画の基本的方針
- ◇ICTを活用したデジタル教育の位置づけ、教員の確保策

○令和6年6月11日

第2回調査 「路線バスおよび日本版ライドシェアに関する勉強会」

- ・ 路線バス減便に至った経緯と今後の対応方針および本県で開始される日本版ライドシェアの実証事業について、勉強会を実施
- ・ 運転士の確保策を中心に、県の行政支援等について確認し、意見交換を実施



(福井県議会 関係課から路線バスの現状等に関する説明の様子)

○令和6年6月21日

第3回調査 「6月定例会常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線敦賀以西の駅位置、詳細ルート公表に向けた対応方針、路線バス減便への対応状況、教員のなり手確保等を中心に協議
- ・年間テーマである「人口減少対策」について、若者、特に女性の地元定着を図るために必要な対策や施策の方向性について協議

〈 6月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（教育委員会）

- ・教職員の不足に関し、現状および人材の確保策について確認するとともに、学校現場におけるポジティブな情報を積極的に発信するよう提案
- ・県立高校の魅力化に関し、高校生の就業を視点とした事業について確認するとともに、高校と民間企業との交流をさらに促進するよう提案

（総務部）

- ・県立大学地域政策学部（仮称）におけるまちなかキャンパスの詳細を確認するとともに、全体の配置案を早期に提示するよう要望
- ・行財政改革アクションプランに基づき、業務量の実態把握と適切な人員配置について提案
- ・男性職員の育児休暇取得と代替職員の状況について確認

（未来創造部）

- ・路線バスの減便について、事業者における運転士の不足状況を確認するとともに、県の早急な行政支援を要望
- ・北陸新幹線敦賀以西に関し、北陸新幹線事業費推進調査に関する連絡会議における議論について確認するとともに、今後の運動方針について論点を確認
- ・地域通貨「はぴコイン」について、常時チャージが可能となるようプラットフォームの改善を提言

〈 総務教育常任委員会 県外視察（令和6年7月16日、17日） 〉

（栃木県 宇都宮大学地域デザイン科学部および地域デザインセンター）

- ・平成28年度に地域デザイン科学部を設置し、魅力ある地域をつくるため、地域の課題を理解し、各地域の資源と特性を活かした「まちづくり」を支える人材を育成している宇都宮大学への視察を実施。
- ・また、学部の附属機関である地域デザインセンターにおいて、自治体や企業等との連携・協働のコーディネーションを行い、地域に根差した研究や教育を支援・推進することで地域貢献を図っていることを確認



（宇都宮大学 地域デザイン科学部に関する説明の様子）

（長野県 しなの鉄道株式会社）

- ・全国初の並行在来線として1997年に開業したしなの鉄道株式会社の運営の現状や、これまでの様々な取組みの成果や課題について視察を実施



（しなの鉄道株式会社 経営状況や今後の方針に関する説明の様子）

○令和6年9月12日

第4回調査 「9月定例会常任委員会の論点整理」

- ・ 6月定例会に続き、北陸新幹線敦賀以西の着工、公共交通の利便性格差等を中心に協議
- ・ 国費事務の不適切処理や学校現場における個人情報管理等について協議
- ・ フリースクール認証制度を導入した長野県の取組みや、子どもが運営する仮想のまち「ミニ・ミュンヘン」を始めた京都府の取組みについて協議

〈 9月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(教育委員会)

- ・ 部活動の地域移行に関して、市町からの問合せに対する対応方法や休日と平日の部活動指導の持続性の担保について見解を確認
- ・ 教育に関する大綱について、「子どもが主役」を前面に押し出した背景について確認
- ・ フリースクールに関して、教育委員会との連携を進めるよう要望するとともに、フリースクールにおける教育環境の実態把握に努めるよう提案

(総務部)

- ・ 県立大学地域政策学部（仮称）におけるまちなかキャンパスの配置案について地域の課題やニーズを吸い上げるとともに、まちづくりの視点も加味した教育を提供するよう要望
- ・ 国費受入れ不備について、財源捻出策および再発防止策の詳細について確認
- ・ 指定管理者制度における賃金スライド制度の導入について詳細を確認するとともに、外部評価の状況を公開するよう要望

(未来創造部)

- ・ 北陸新幹線敦賀以西の着工に関して、駅位置・詳細ルート案の絞り込みに向けたスケジュールと年末に向けた運動方針を確認
- ・ 敦賀駅におけるIC改札機設置について、JR西日本との協議状況等について確認
- ・ 若者恋愛応援事業の成果に関する判断基準について県の見解を確認

〈 総務教育常任委員会 県内視察（令和6年11月12日） 〉

（合同会社菅浜わくわく協働体）

- ・65歳以上の高齢者が人口の過半数を占める高齢化集落の割合が増加する中、集落機能を維持していくことがますます困難となり、行政だけでなく、住民自らが主体となってまちづくりを進めていくことが重要であることから、「恵みと暮らし」「賑わいと暮らし」「豊かさと暮らし」「ふるさと茶屋」の4つをコンセプトに集落の活性化に取り組んでいる菅浜わくわく協働体を視察
- ・協働体設立に至る経緯について確認するとともに、事業に取り組む際の課題や支援の在り方等について意見交換を実施



（菅浜わくわくかんでの概要説明）

（福井県立若狭高等学校）

- ・県内高校では、令和5年度入学に向けて初めて地域みらい留学の制度を活用し、全国に生徒募集を行った結果、県外から5名の生徒が入学し、同年8月には老朽化した寮を新たに学校敷地内に建て替え、快適な住環境の整備も行った福井県立若狭高等学校を視察
- ・地域みらい留学の現在までの取組状況や成果、今後の課題等について確認するとともに、留学生との意見交換を実施



（福井県立若狭高等学校における意見交換、若竹寮の現地視察）

○令和6年12月5日

第5回調査 「12月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線敦賀以西の整備に関する今後の対応方針、財源議論の早期着手等を中心に協議
- ・県立大学中期目標および中期計画ならびに教育振興基本計画、嶺南地域公共交通計画の骨子案、集落活性化に向けた取組み等について協議
- ・データ収集・分析の担当職員を配置した青森県の取組みについて情報提供したほか、東京都教育委員会が2025年度に設ける方針の学校業務の外部委託制度について議論

〈 12月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（教育委員会）

- ・教員の志望者減少と退職の要因分析について確認
- ・子どもの読書推進について、幼少期から中学生までの間に本と出会う場面を多く設けるよう提言
- ・食育について、教育現場における取組状況を確認するとともに、農林水産部と連携して有機野菜や県内産を学校給食に出来るだけ取り入れるよう要望

（総務部）

- ・県立大学における第3期中期計画の実績を確認するとともに、第4期中期計画策定に向けて県立大学が果たす使命、国際化の方向性等について確認
- ・地方創生に取り組み市町の活動を応援することについて、今後の県の対応方針について確認

（未来創造部）

- ・北陸新幹線敦賀以西について、整備委員会における大阪府、京都府、京都市らの意見について確認するとともに、福井県として協力できることについては積極的に提言するよう要望
- ・小浜線の増便について要望するとともに、バスの運転士確保の状況について確認
- ・人口減少対策における女性活躍の基本的考え方や指標等について確認

○令和6年2月20日

第6回調査 「2月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・人口減少対策、県立大学中期計画、教育振興基本計画を中心に協議
- ・東京一極集中の是正、私立高校の授業料無償化拡大に伴う影響、北陸新幹線敦賀以西に関する今後の活動方針、財政収支見通し等について協議
- ・フリーアドレス化した職場における勤務状況を見える化した福島県の取組みについて情報提供したほか、福島県2025年度に設ける学校支援チームについて議論



〈 2月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(教育委員会)

- ・私立高校の授業料無償化に伴う県立高校への影響について確認
- ・紙の教科書とデジタル教科書の今後の在り方について確認
- ・地域移行した部活動に対し、クラウドファンディング等を活用した支援方法を検討するよう要望
- ・嶺南採用枠を新設した経緯を確認するとともに、地元愛が強い教員の育成について要望

(総務部)

- ・福井県庁長期インターンシップについて、参加者の意識変化を確認するとともに、受験率の向上等に繋がる工夫を検討するよう要望
- ・県立大学中期計画について、4センター体制の詳細について確認するとともに、県外大学における研究活動が地域貢献を果たすものとなるよう要望

(未来創造部)

- ・北陸新幹線敦賀以西について、福井県としてバイアスがかかっていない正しい情報を関西圏中心に発信していくことを要望
- ・若狭湾プレミアムリゾートエリアプロジェクトについて、プロジェクト発足の経緯と民間企業に対するインセンティブの有無を確認
- ・路線バス運転士への支援による成果と今後の復便見通しを確認した。

厚 生

力野豊（リーダー）、北川博規、笹原修之、山本建、南川直人、山岸みつる、三宅わたる（R7.2～）、斉木武志（～R6.10）
議会局 議事調査課（古道、深谷、関）

○令和6年5月9日

第1回調査 「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

- ・年間を通じて継続的な調査、研究を行うテーマについて協議
- ・決定したテーマに基づく今年度の取組を協議

〈年間テーマ〉

「エネルギー政策および原子力を含む防災力の向上」

- ◇使用済燃料対策の状況
- ◇GX実現に向けた基本方針に基づく施策の具体化
- ◇2050年カーボンニュートラル実現に向けた、再生可能エネルギーの導入等、施策の状況
- ◇能登半島地震を踏まえた防災力の向上

「子ども・子育て支援施策の推進」

- ◇子育て支援施策の実施状況、施策効果の検証

○令和6年6月27日

第2回調査 「6月定例会常任委員会の論点整理」

- ・子ども計画（仮）の検討会において、有識者から認知度の低さについて指摘された子育て支援策の発信強化、地域防災計画等各種計画の策定・改定を中心に協議
- ・高レベル放射性廃棄物の地層処分について意見交換

〈 6月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(防災安全部)

- ・地域防災計画において、重機を扱う技術系ボランティアの記述がないため、部局間での連携をした上で、有効活用に取り組むことを要請
- ・自転車におけるヘルメットの着用において、外国人への安全対策の状況について確認

(エネルギー環境部)

- ・ツキノワグマ捕獲の際の猟友会の作業手順および道具などの補助について確認
- ・三十三間山風力発電事業の現状について確認

(健康福祉部)

- ・医療的ケア児者支援センターを嶺南地域にも設置するなど県内全域へ知見を拡げていく仕組みについて確認
- ・令和8年度から開始することも誰でも通園制度を見越した保育人材の確保策について確認

○令和6年7月2日

第3回調査 「高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する勉強会」

- ・国内における地層処分の手続や先行自治体の状況、国外の事例について、NUMO（原子力発電環境整備機構）を招いての調査を実施
- ・交付金制度や使用済燃料の具体的な管理方法について意見交換



(高レベル放射性廃棄物の地層処分について意見交換を行う様子)

〈 厚生常任委員会 県外視察（令和6年8月26日～28日） 〉

（ニセコミライ 北海道ニセコ町）

- ・ニセコミライは環境配慮型の新しい街区であり、ニセコ町や住宅メーカー等が出資し官民連携で街づくりを行う企業である(株)ニセコマチが整備を進めている。ニセコ町は環境モデル都市に選定されており、ゼロカーボン実現に向けた取組みの先進事例であることから、ニセコミライの取組状況や課題等について現地調査を実施した。



（ニセコミライにてゼロカーボン実現に向けた取組みについて意見交換）

（寿都町役場 北海道寿都町）

- ・寿都町は、令和2年に高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定に係る文献調査に応募していることから、文献調査を受け入れた経緯や、受け入れにあたって議会・町民の理解を得るためにたどったプロセス等について現地調査を実施した。



（寿都町役場にて文献調査に係る経緯等について意見交換）

（幌延深地層研究センター 北海道幌延町）

- ・本施設は、高レベル放射性廃棄物を地層処分するための研究開発を行う国内唯一の地下研究施設であり、全国最多の原子力発電所を有する本県として最終処分がどのようになされるかを主体的に理解することが重要であることから、研究概況や実際の深地層での試験研究等について現地調査を実施した。



(幌延深地層研究センターにて地方処分研究の取組みについて意見交換)

○令和6年9月18日

第4回調査「9月定例会常任委員会の論点整理」

- ・民間企業との給与差を要因とした公的病院における薬剤師不足の現状と課題を中心に協議
- ・先進事例として、青森県の使用済燃料保管に係る核燃料税の導入について協議



〈 9月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(防災安全部)

- ・関西電力の使用済燃料対策ロードマップの実効性や六ヶ所再処理工場の竣工延期に関する県の情報収集体制を確認
- ・県が備蓄している防災用非常食の活用策について確認

(エネルギー環境部)

- ・40超運転の原子力発電所を停止した場合の地方交付税を含めた財政への影響について確認
- ・大型の海岸漂着物に対する美化活動の実施状況を確認

(健康福祉部)

- ・ 東南アジア等からの介護人材の確保に係る今後の見通しについて確認
- ・ 公的病院の薬剤師不足対策のための奨学金免除制度の補助対象を確認するとともに、県外の薬学部生など補助対象者への周知を強化するよう要請

○令和6年9月26日

第5回調査 「県内の薬剤師不足に関する意見交換会」

- ・ 薬剤師不足の現状や県の支援策について、福井県薬剤師会を招いての調査を実施
- ・ 人材の県外への流出や地域偏在、制度の周知方法について意見交換



(県内の薬剤師不足について意見交換を行う様子)

〈 厚生常任委員会 県内視察（令和6年11月5日） 〉

- ・ 9月の意見交換会を踏まえ、公立小浜病院および市立敦賀病院を現地視察し、県の施策に上乗せして行われる病院独自の薬剤師修学資金制度や常勤医師の確保が課題となっている緊急医療体制の現状を確認。



公立小浜病院



市立敦賀病院

○令和6年12月11日

第6回調査「12月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・ 関西電力の使用済燃料対策ロードマップや国のエネルギー基本計画などの原子力政策を中心に協議
- ・ 本県における公的病院の医師・看護師・薬剤師不足について全国との比較を基に、意見交換



〈 12月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(防災安全部)

- ・関西電力の使用済燃料対策ロードマップの提出までのスケジュールや中間貯蔵施設の操業開始の予定年度を確認

(エネルギー環境部)

- ・共創会議やEコスト計画で掲げられている地域振興策について、机上の議論ばかりで具体的な事業に結びついていないため、早期の事業化を国に強く求めていくことを要請
- ・太陽光パネルのリサイクルや次世代太陽電池のビジネス化について確認

(健康福祉部)

- ・ドクタープール制度の現状を確認するとともに、県民への定期的な公表を要請
- ・重症心身障がい児者福祉支援について、生活介護や医療的ケアが必要でない方に対する事業など、現状では対象外となっている事業への制度拡充を要請

○令和7年2月27日

第7回調査「2月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・関西電力の使用済燃料対策ロードマップ、介護事業者や障がい者福祉サービス業者の経営難を中心に協議
- ・先進事例として、青森県の再生可能エネルギー共生税、茨城県で導入されている救急車の有料化制度等を紹介

〈 2月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(防災安全部)

- ・関西電力の使用済燃料対策ロードマップの実効性の考え方や県の評価について確認するとともに、万が一六ヶ所再処理工場の竣工が延期になった場合の県の対応を明確化するよう提言
- ・バックエンド対策について、国の主体的な関与を県から強く求めるよう提言
- ・耐震化率や空調の整備状況など災害時に避難所となる体育館等の環境を確認

(エネルギー環境部)

- ・クリアランス集中処理会社に関する雇用の計画や今後の見通しを確認
- ・メガソーラーを設置する事業者に対して制限をかけることについて、県の見解を確認

(健康福祉部)

- ・待機児童の現状を確認するとともに、潜在的待機児童の解消に取り組むことを提言
- ・県立病院の新たな経営計画で令和9年度の黒字化を目標とすることについて、公的病院の役割を確認するとともに、他の急性期病院との連携を提言

産 業

山浦光一郎（リーダー）、細川かをり、西本恵一、渡辺大輔、
松崎雄城、森嘉治、時田和一良、中西昭雄（R 7. 2～）

議会局 議事調査課（古道、前、荒木）

○令和6年5月9日

第1回調査 「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

〈年間テーマ〉

「人口減少対策（社会減対策）」

- ◇関係人口増大に向けた取組、就労支援等の拡充、就労環境の改善
- ◇他自治体との差別化、優位性に関する情報発信

「新幹線開業効果の最大化・持続化に向けた取組」

- ◇新幹線開業効果の最大化に向けた取組、一過性に終わらせない取組
- ◇インバウンド需要への対応、アリーナ構想

「経済ビジョンの推進」

- ◇ウェルビーイングの向上、企業支援等
- ◇人手不足対策、賃上げ・リスクリング等による人への投資の推進

「農業の活力強化、食育・地産地消の推進」

- ◇次世代へつなぐ、希望あふれる食・農・環境基本計画に基づく施策実施
- ◇鳥獣害対策の推進
- ◇第4次ふくいの食育・地産地消計画に基づく施策の実施

○令和6年6月21日

第2回調査 「6月定例会常任委員会の論点整理」

- ・アリーナ構想、北陸新幹線開業効果の最大化・持続化、人手不足対策等について協議
- ・先進事例として、滋賀県および青森県八戸市のアリーナ整備について協議

〈 6月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（交流文化部）

- ・福井アリーナの整備・運営について、県の役割を確認するとともに、課題を整理するよう要望
- ・県内へのUIターンについて、現在の状況と県の取組を確認

（産業労働部）

- ・労働力人口が減少していく中で、将来、県内産業のどの分野に人材や労働力が必要かを見極め、どう配置していくかという、産業労働力に関する県としての戦略を持つよう提言
- ・外国人材について、ミャンマーとの連携内容について確認

（農林水産部）

- ・国費の受入手続の不備について、発生原因および今後の対策について確認

〈 産業常任委員会 県外視察（令和6年7月17日～18日） 〉

（滋賀県 滋賀ダイハツアリーナ）

- ・本アリーナは、B1リーグの施設基準を満たす観客席約5,000席を備えたメインアリーナを有しており、バスケットボールBリーグの滋賀レイクスが本拠地としている。本県で計画されているアリーナ構想の参考とするため、設立経緯および運営状況について調査
- ・整備に至る経緯、イベント時の交通対策、施設の利用率等について、意見交換



（滋賀ダイハツアリーナ 整備経緯等について意見交換）

（香川県神山町 認知 NPO 法人グリーンバレー）

- ・同町は、人口は約5,000人、徳島市から車で45分、徳島空港からは車で1時間の立地でありながら、IT企業のサテライトオフィスやアーティストといった人材が次々に流入している地方創生の先進地である。本県における人口減少対策の参考とするため、神山のまちづくりと創造的過疎について調査
- ・移住者が増加した要因、神山丸ごと高専の誘致等について意見交換



（香川県神山町 移住者が増加した要因等について意見交換）

(香川県神山町 神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス)

- ・閉鎖された元裁縫工場を改修したコワーキングスペースを視察



(神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックスの現地視察)

○令和6年9月14日

第3回調査 「9月定例会常任委員会の論点整理」

- ・移住定住の促進、北陸新幹線開業効果の最大化・持続化、外国人材の活用策、コメの需給状況等について協議
- ・先進事例として、北海道の短期農業バイトと観光を組み合わせたモデルコース作成等の取組について協議

〈 9月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(交流文化部)

- ・UIターンについて、県外者に県内企業の採用状況が届きやすい環境づくりを強化するよう提言
- ・新幹線開業効果について、現状および宿泊者数がコロナ禍前より減収している原因と対策について確認

(産業労働部)

- ・外国人材について、外国人材受入サポートセンターの相談状況を確認するとともに、外国人と地域住民との融和についても配慮するよう要望
- ・商店街への新幹線開業効果波及事業について、まちづくりと一体となって進めるよう提言

(農林水産部)

- ・コメの価格について、県内の状況を確認
- ・林業について、育樹祭後の県の林業政策の方向性について確認

〈 産業常任委員会県内視察（令和6年11月22日） 〉

（永平寺町 歓宿縁ESHIKOTO、ESHIKOTO）

- ・日本酒を中心とした福井の食文化を発信する観光複合施設「ESHIKOTO」および隣接する国内外の富裕層向けのオーベルジュである「歓宿縁ESHIKOTO」を視察
- ・「食で稼ぐ」観光の拠点としての役割や両施設の魅力の発信策、今後の誘客策等について意見交換



（歓宿縁ESHIKOTOの宿泊施設の視察）

（坂井市 ICHIGOOJI）

- ・県外からIターンで坂井市に移住した経営者の池田氏が「若者目線の農業」を目指し、ビニールハウス内でイチゴの摘み取り体験のナイト営業などのイベントを開催するなど、新たな取組で地域の人や観光客に楽しんでもらう運営をしている本農園を視察
- ・新規農業就労者の確保やUIターンの促進のために、農園の魅力を高める運営方法や地域を盛り上げる移住者の活動について意見交換



（イチゴハウスの視察）

(福井市 FUKUI 外国人材受入サポートセンター)

- ・外国人材の利活用促進のため、新たに県が開設したFUKUI 外国人材受入サポートセンターを視察
- ・センターの運営状況や相談対応状況、外国人材受入に関する今後の課題について意見交換



(FUKUI 外国人材受入サポートセンター内の視察)

○令和6年12月5日

第4回調査 「12月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線開業効果の最大化・持続化、中小企業の価格転嫁の推進、アリーナ構想、コメ政策等について協議
- ・先進事例として、愛媛県における対話型A Iを活用した移住相談等について協議

〈 12月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（交流文化部）

- ・新たなふくい観光ビジョンについて、新幹線開業後の状況を踏まえた検討状況を確認するとともに、交通アクセス等他部局や市町等とも連携して計画を検討するよう提言
- ・アリーナ構想について、アリーナの経済効果が県全域に及ぶよう要望

（産業労働部）

- ・県内企業の価格転嫁について、現状および県の支援方針を確認
- ・外国人材の呼び込み強化について、ミャンマー連邦共和国に拠点を持つ法人と連携協定を結んだ経緯を確認

（農林水産部）

- ・ふくいの水産業基本計画骨子案について、漁業者の所得向上のため、加工の面での生産拡大を重視するよう提言

○令和7年2月20日

第5回調査 「2月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・人口減少対策、北陸新幹線開業効果の最大化・持続化、人手不足対策、稼げる農林水産業の推進策等について協議
- ・県内事例として、福井商工会議所が調査・公表している管内小規模事業者のコスト上昇に対する価格転嫁の現状について協議

〈 2月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（交流文化部）

- ・インバウンドの推進について、現状の課題を確認するとともに、福井に宿泊する戦略を立てるよう提言
- ・UIターンの推進について、就職情報サイト「291JOBS」の機能強化に関し、県の支援策等就職に関連する情報をトータルで見れるサイトにするよう要望

（産業労働部）

- ・中小企業の価格転嫁に向けた取組への支援について、現在の進捗状況を確認

（農林水産部）

- ・いちほまれブランド戦略について、米価が高騰している状況を踏まえた今後の戦略を確認
- ・農業分野における外国人材受け入れについて、県内の受入状況を確認するとともに、他部局との連携を進めるよう提言

土木警察

田中宏典、清水智信、田中三津彦（リーダー）、渡辺竜彦、
三田村輝士、堀居哲郎、中村綾菜、福野大輔

議会局 議事調査課（藤井、福岡、高橋）

○令和6年5月9日

第1回調査 「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

〈年間テーマ〉

「大規模地震減災対策について」

- ◇福井県域道路啓開計画
- ◇木造住宅耐震化の現状、課題

「建設現場における働き方改革について」

- ◇建設事業者における働き方改革の現状、課題
- ◇建設事業者における人材確保・育成の課題、今後の展望

「サイバー犯罪対策について」

- ◇サイバー犯罪の動向、対策の課題
- ◇SNS詐欺対策、闇バイト対策の現状、課題



○令和6年6月27日

第2回調査 「6月定例会常任委員会の論点整理」

- ・国土強靱化対策、敦賀港の特定利用港湾指定、電動キックボードによる事故防止、薬物関連犯罪防止対策等について協議
- ・先進事例として、愛媛県の県立高校自転車ヘルメット着用義務化の取り組み、山形県のコンビニポリス配置による特殊詐欺防止対策について協議

〈 6月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（警察本部）

- ・電動キックボードの県内の事故件数等について確認
- ・覚せい剤事犯の検挙状況および覚せい剤の入手経路について確認するとともに、若者への薬物関連犯罪防止講座等を充実させることを要望

（土木部）

- ・舞鶴若狭自動車道や北陸新幹線敦賀以西の工事等の公共工事の残土処分について、処分先の検討状況を確認するとともに、早期に決定するよう要望
- ・敦賀港の特定利用港湾指定について、選定理由や指定時期、地元住民への説明状況等について確認

〈 土木警察常任委員会 県外視察（令和6年8月20日、21日） 〉

（熊本県 土木部益城復興事務所）

- ・震度7の地震が2度発生した平成28年の熊本地震および令和2年、令和5年の2度の豪雨による道路橋の流出、土砂の流入、道路の冠水等の被害と復興状況について調査
- ・まちの復興のために土地区画整理や道路拡幅事業による4車線化、都市拠点の再活性化等の取組について、意見交換



（災害復旧のための事業と復興状況について意見交換）

（熊本県 総合防災航空センター）

- ・県防災消防航空センターと県警察航空隊基地を合築した熊本県総合防災航空センターについて調査
- ・大規模災害時における広域的な救助や医療活動の拠点となる広域防災拠点としての機能および防災関連機関との連携について意見交換



（熊本県総合防災航空センター内の警察航空隊ヘリを視察）

○令和6年9月18日

第3回調査「9月定例会常任委員会の論点整理」

- ・道路啓開計画策定状況、盛土規制法施行による規制区域指定状況、高規格道路工事の進捗状況、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺対策、交通安全対策等について協議
- ・先進事例として、名古屋市の高齢者世帯への自動録音機無料貸し出しによる特殊詐欺対策、大阪府の特殊詐欺対策のための条例改正の検討について協議



〈 9月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(土木部)

- ・道路啓開計画について、地震のみではなく原子力災害などとの複合災害を想定し、原子力災害の避難計画等とも調整するよう要望
- ・盛土規制法施行による規制区域指定について、進捗状況や県内の違法な盛土の有無の確認
- ・中部縦貫自動車道の開通時期見直しについて、工事課題調査の進捗状況および福井外環状道路事業化への影響について確認するとともに、早期開通について要望

(警察本部)

- ・SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺対策について、被害状況を確認するとともに、webサイトやSNSの広告機能を活用した注意喚起事業の対象年齢拡大を検討するよう提言
- ・チャイルドシート着用率について、本県の現状と対策について確認

〈 土木警察常任委員会 県内視察（令和6年11月5日） 〉

（大野市 中部縦貫自動車大野油坂道路）

- ・ 9月に開通時期の見直しが必要となったことを受け、課題発生の背景や工事の進捗状況確認のため現地調査を実施
- ・ 工事課題箇所となっている新子馬巢谷橋橋脚部のケーソンの沈下不能および蛇紋岩によるのり面の崩落、大谷トンネルの湧水の発生について意見交換



（課題箇所の新子馬巢谷橋の視察）

（坂井市 福井空港）

- ・ 福井空港は、昭和41年に開港して58年経過し、現空港ビルの老朽化が著しく建て替え等が必要となっており、現在の福井空港の利用状況や将来像、福井空港ビル再整備構想の検討状況について調査
- ・ 今後の福井空港のビジネスや観光目的での利活用や大規模災害時の拠点としての機能強化について意見交換



（福井空港の利用状況や将来像等について意見交換）

○令和6年11月22日

第4回調査 「福井空港の利活用等に関する勉強会」

- ・福井空港の利活用等について、県民を対象としたミニフェスの開催など今年度の利用状況について意見交換
- ・観光やビジネスを中心とした利用が想定される小型機について、搭乗体験を実施



(福井空港事務所 福井空港の利活用等について意見交換)

○令和6年12月11日

第5回調査「12月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・雪害予防対策、国土強靱化対策、交通安全対策、闇バイト対策等について協議
- ・先進事例として、神戸市の空き地活用支援、鳥取県の犯罪被害者支援専門窓口開設の取組内容について協議



〈 12月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(警察本部)

- ・横断歩道のカラー化の効果と今後の方針について確認
- ・闇バイトをきっかけとした事件の検挙状況、闇バイト応募者の相談窓口について確認

(土木部)

- ・国土強靱化対策として、砂防事業の進捗状況を確認
- ・大雪時の北陸道と国道8号の同時通行止めについて、通行止めの基準やドライバー等への周知体制を確認するとともに、物流や経済への影響も考慮し国や高速道路会社と協議するよう要望

○令和7年2月27日

第6回調査「2月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・老朽化するインフラの維持管理、道路整備プログラムの進捗状況、建設現場の人材確保、今シーズン的大雪による同時予防的通行止めの評価、交通安全対策、闇バイト対策等について協議
- ・先進事例として、東京都の樹木点検アプリの開発による業務効率化に向けた取組、警視庁の警察官採用試験の前倒しについて協議



〈 2月定例会 常任委員会における主な議論 〉

(警察本部)

- ・信号機や横断歩道などの新設等について、新設箇所選定の考え方、地域からの設置要望数等について確認
- ・闇バイト対策としてAIを活用したサイバー空間パトロールによる監視方法、効果について確認

(土木部)

- ・建設産業女性活躍推進事業の進捗状況、埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けて、インフラの維持管理等について確認
- ・今シーズン的大雪時の予防的通行止めについて、積雪の状況により通行止め解除の判断を速やかに行うよう要望
- ・一般県道徳光福井線の整備について、国道8号の渋滞緩和にも繋がるため、早期の事業化を要望